

1 自己評価及び外部評価結果

| | | | |
|---------|----------------|-------|---------------|
| 事業所番号 | 0670400803 | | |
| 法人名 | 有限会社 敬愛会 | | |
| 事業所名 | グループホーム こもれびの家 | | |
| 所在地 | 米沢市花沢3612番地の1 | | |
| 自己評価作成日 | 平成 30年 1月 15日 | 開設年月日 | 平成 15年 7月 30日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで検索し、閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 <http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/>

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|---------------------|---------|---------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 エール・フォーユー | | |
| 所在地 | 山形県山形市小白川町二丁目3番31号 | | |
| 訪問調査日 | 平成 30年 2月 22日 | 評価結果決定日 | 平成 30年 3月 12日 |

(ユニット名 くるみ)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

私達、敬愛会では、「笑顔が見たい・役に立ちたい」を合言葉にご利用者のサポートを行っております。一人ひとりの意思を尊重しながら、スケジュールに縛られない生活、できることはご自分で行っていただき、できないことを支援するスタイルをとっています。そして何より残存能力が活きた生活はご利用者様、ご家族様の安心と笑顔にもつながります。また、担当制を持つことで、一人ひとりが持つ「意思」にもきちんと耳を傾けることができます。その他に、季節ごとのイベントも豊富で、ご家族様、地域のボランティアの方々との交流の機会を設けております。自ら主体的に企画と立案しながら、全員が楽しめるようなイベント・行事を年間通して行っております。これからも謙虚な姿勢でつくっていきたく思っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

静かな集落の中に建つホームでは利用者が毎日を平穏に暮らし、落ち着いた状態を長く続けられるように、居室担当職員が寄り添い、目配り気配りをして家族等の安心に繋げています。地域の方々にも気に掛けてもらい、事業所の夏祭りには近所の方も一緒に楽しんでいます。職員は皆に生き生きと暮らしてもらえよう、色々な資格を取得して利用者の余暇活動に活かし残存能力の維持に役立っています。「あなたの笑顔が見たい」ひとりひとりに「お待たせしました」の言葉を添えて支援を続ける事業所です。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~54で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 | | 項目 | 取り組みの成果 | |
|---|---------|---|--|---------|---|
| | ○ | ↓該当するものに○印 | | ○ | ↓該当するものに○印 |
| 55 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない | 62 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 56 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,37) | ○ | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 63 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 57 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 64 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 58 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:35,36) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 59 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:48) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:29,30) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 61 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | |

山形県地域密着型サービス「1 自己評価及び外部評価(結果)」

※複数ユニットがある場合、外部評価結果は1ユニット目の評価結果票にのみ記載します

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|--------------------|-----|--|--|---|-------------------|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 「笑顔が見たい、役に立ちたい」をスローガンとし、支援行っています。また、ホーム独自の目標を毎月決め、唱和行い意識して仕事に取り組んでいます。 | 「笑顔が見たい、役に立ちたい」のスローガンをもとに毎月の目標を決めて、ユニット毎に交替時に唱和し意識付けしている。利用者が毎日を当たり前に暮らせる様に活動を通して支援している。 | | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 近隣に散歩に出かけたり夏まつりなどの行事に参加していただいたりして交流を図っております。 | 地域の一員として事業所は、自主防災組織に参加し、除雪の協力などを行っている。利用者の事も気に掛けてくれて、野菜を届けてもらったり、また夏祭りに近所の方に参加してもらうなど、なじみの関係を築いている。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域推進会議の場を活用し、事例や事案などを聞いていただいています。 | / | / | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議は2か月に1回開催しており、相談員の方からいただいた意見や評価について話し合いの時間をもち、そこでいただいた意見をサービスに活かしています。 | 運営推進会議は、情報交換の場として意識付け、利用状況・活動報告の他、その時々合った話題で、敷地内小規模事業所と一緒に開いている。市の動きや、町内会長、民生委員等から意見をもらい利用者へのサービス向上に繋げている。 | | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 運営推進会議に参加していただいた際や、訪問・電話等で相談をさせていただいております。 | 市担当者は運営推進会議に出席しており、事業所の取組み等に理解をもらっている。利用者にかかわる事例なども相談して、行政の立場で意見をもらうなど協力関係を築いている。 | | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら、玄関に鍵をかけない工夫や、身体拘束をしないで過ごせるような工夫に取り組んでいる | 身体拘束等の排除への取り組みというお題での研修会が年間研修スケジュールに組み込まれており、全職員が勉強する機会を設けております。また折に触れ身体拘束等についての考え方を話し合う機会があり禁止行為の知識を持っています。 | 身体拘束排除についての研修が行われて全職員が周知している。利用者の動作を見て行動を理解し現状を把握してそれに沿ったケアを行っている。枕元にタンバリンを置いて鳴らしてもらう、鈴を付けるなどの工夫をして行動を察知出来るように対応している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|----|-----|---|--|--|-------------------|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 毎月行う会議にて勉強会を行い、虐待ゼロに向けて積極的に取り組んでいます。 | | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 毎月行う会議にて勉強会を行い、利用されている方もいらっしゃいます。 | | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時には重要事項説明書も併せて必要書類の読み合わせを行い説明しています。また、ご家族様の思いにしっかりと寄り添うことができるように、何回も話し合いの場を設けております。 | | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 玄関に意見箱を設置したり、日頃から面会時やお電話等で意見や要望を把握し、随時話し合いの場を設け、運営に反映できるように取り組んでいます。 | 家族等とは面会時に話を聞くようにしており、担当職員が利用者の気持ちをよく理解したうえで、思っている事を聞き取るように心掛けている。職員は名入れのユニホームと出勤板に名前を貼りだし、面会家族とコミュニケーションが取れるようにしている。意見や要望などは管理者が責任をもって指示を出し対応している。 | | |
| 11 | | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 毎月行われるスタッフ会議や申し送りノートを活用し、意見を交換して運営に反映できるように取り組んでいます。 | | | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 毎月個々人に自己評価をしてもらい、意識をもって仕事ができるようにしています。また、きらり賞を設け他の人の素晴らしいところを誉めることでやりがいにつながり、各自が向上心を持って仕事に取り組めるようにしています。 | | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|----|-----|--|--|--|---|--|
| | | | 実践状況 | | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 13 | (7) | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 個々人に合った研修に参加し、報告書・報告会にて周知しています。施設内でも研修を毎月行い、ケアの質の向上に努めております。 | | 外部研修は案内を掲示し、進んで受ける人や管理者の薦めで受講している。内部は年間計画に沿って毎月課題があり、管理者が講師となり学びを深め、また外部研修受講の報告書による報告会で全員が内容を周知し、ケアの向上に繋げている。 | |
| 14 | (8) | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | 市の同業者ブロック協議会の参加や、「おいたまの郷」との連携をはかっています。 | | 日本認知症グループホーム協会に参加しており、会議には管理者が出席している。認知症の勉強会は、申し送り職員に伝達し周知を図り利用者の支援に役立てている。 | |

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

| | | | | | | |
|----|--|---|---|--|---|--|
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 利用者様の不安が少しでも和らぐように事前に話し合いの場を持ち、要望や不安に思っていることを受け止めながら安心できる環境づくりに努めております。 | | / | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご家族様からのアセスメントを取る機会を設け、不安や思いを汲み取るようにしています。 | | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 入居の申し込みを頂き、面接等を経た段階でご本人様が必要としている支援内容と、私達のグループホームの支援内容が合致しているか等話し合い、必要であれば適切であろう機関に紹介させていただいております。 | | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | ご家族様からのアセスメントを取る機会を設け、不安や思いを汲み取るようにしています。 | | | |
| 19 | | ○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご本人様の思いに傾聴し、尊厳を大切にすることを常に念頭に置き、接しております。 | | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|------------------------------------|-----|---|--|--|-------------------|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 20 | | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 馴染みの場所を訪れたり、手紙や電話などで近況報告されている方もいらっしゃいます。 | | | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | お一人おひとりの個性を十分に把握し、食席などに配慮し、馴染みの関係を築けるようにしています。 | | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 必要とされた際はできる限り支援させていただいております。 | | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 居室担当者を配置し、信頼関係を築き、良き理解者となれるように努めております。また、ご本人様の思いや希望を把握し、ケアプランにも活かしております。 | 居室担当者と良い関わりが出来るように、いつもと違う様子が見えた時には、担当者に必ず伝わるようにし、家族等から得た気付きも経過記録や業務日誌に残して共有している。その人に合わせた会話でコミュニケーションを取り、その中から意向や思いを組み取りケアプランに結び付くよう検討している。 | | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 事前に十分なアセスメントをご家族様、ご本人様からいただき細かく把握していけるよう努めております。 | | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 居室担当者が細かく把握し、それに基づいて記録を残しております。 | | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|----|------|---|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 定期的にモニタリングを行い、居室担当者が本人の思いに傾聴し、ケアプランに反映できるように支援を行い、それをもとにケアカンファレンスをし、ご家族の思いや他職員の意見等を反映させております。 | | 担当職員は、利用者がどのような暮らしを望んでいるか、どんな支援が必要かを日々の生活や会話の中からモニタリングし、家族等の意向なども加え、統一したケアが出来るよう配慮したプランを作っている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の生活を細かく記録しております。記録はケアプランに沿ったものになるよう意識しており、ケアプランの実施状況に反映できるようになっております。 | | | |
| 28 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域のボランティアの受け入れを積極的に行っています。 | | | |
| 29 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ご本人の希望するかかりつけ医になっています。また、定期的な往診もあり夜間・緊急時など24時間連絡がとれる体制となっています。 | | 希望する医療機関を家族や事業所の付き添いで受診している方や協力医の往診を受けている方もおり、医師との連携を図りながら家族等と健康状態の把握・共有に努めている。また歯科医の往診や歯科衛生士の口腔ケアの定期的訪問もある。 | |
| 30 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 訪問看護は週に1度あり、その際に相談させていただいたりしています。 | | | |
| 31 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、入院治療が必要な可能性が生じた場合は、協力医療機関を含めた病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院された際は、医療機関との情報を交換し、病院側には入院される前の状況を、こちらでは入院先に出向き看護師さんより情報をいただいたりして状況の把握に努めております。 | | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|---|---|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 32 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、医療関係者等と共にチームで支援に取り組んでいる | ご本人やご家族様の意向を踏まえた上で医療機関と連携を図り、職員全員で共有し取り組んでいます。 | 重度化した場合はかかりつけ医から家族等に状態と今後の対応について説明があり、話し合いを重ねながら意向を確認し方針を共有した上で、安心して納得が得られる支援体制を整えている。 | | |
| 33 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 消防署開催の救急救命講習会に定期的に参加したり、毎月の会議でも勉強会を行い、その状況にあった対応ができるように努めています。 | | | |
| 34 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 防災管理者の主導のもと、年2回の防災訓練を実施しています。地域の防災組織にも加入しており、地域との協力体制も整っています。 | 総合訓練は夜間想定で行われ、利用者は居室に備えているヘルメットをかぶって避難し、隣接の法人事業所への応援要請や火災時の防火扉閉鎖などの手順を確認している。利用者情報の整備など総評を次に繋げている。 | 総合訓練に加え災害時研修も行い防災に取り組んでいるが、日頃から召集や机上訓練なども取り入れ更なる備えに期待したい。 | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | | |
| 35 | (14) | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | プライバシーに配慮した声掛けを徹底しており、また、毎日の唱和の中でも意識付けしております。 | 接遇研修を通して人格を尊重した配慮ある関わりや言葉遣いを学び実践している。「私が見かけた素敵なきらり賞」は職員間で良い所を見つけ合い、自身のケアも振り返る機会として事業所全体の意識向上に繋げている。 | | |
| 36 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 自分の思いや希望が言いやすいよう環境作りに努めており自己決定ができるよう、ゆっくり関わるようにしています。 | | | |
| 37 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ご利用者様それぞれの生活スタイルを尊重できるよう取り組んでいます。 | | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|-------------------|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 38 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | その日着たい衣服を選んでいただいたり、今まで通われていた美容院にご家族様の協力のもと通い続けていらっしゃる方もおります。 | | | |
| 39 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 栄養面に配慮しながら、食べたいものや季節のメニューを一緒に考えたり、また、調理や盛り付けも一緒に行っております。 | 献立はユニット毎交替で作っているが職員と広告を見ながら今日のメニューを決める事もあり、利用者の希望を取り入れた食事になっている。差し入れも多く、鍋や芋煮、豚汁、鯉の甘露煮になど行事に合わせた郷土料理なども喜ばれている。 | | |
| 40 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 担当にあたったユニットが毎日の献立を作成しております。食事量や水分・塩分、その他の禁食等を考慮しながらバランスの取れた食事提供を心掛けております。また、摂取量は毎食記録を残し状態の変化や食べやすい食形態の把握等に努めております。 | | | |
| 41 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後口腔ケア行い、できない部分は介助行い、徹底してケアを行っております。 | | | |
| 42 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 一人ひとりの排泄状況を排泄表に記録しており、排泄パターンを把握しその方に合った時間帯で誘導や声掛けを行っております。 | 排泄や水分摂取などを記録した24時間シートでパターンを把握し、尿意のない方でも定時誘導やその方に合った時間に声掛けしてトイレでの排泄を支援している。失敗があっても羞恥心や自尊心に配慮した対応が行われている。 | | |
| 43 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 毎日の体操やこまめな水分提供を行い予防に努めております。必要に応じて下剤を服用されている方もおり、個々に合った予防に努めております。 | | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|-------------------|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 44 | (17) | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、事業所の都合だけで曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p> | 入浴日を決めず、その日の体調や気分に応じて入浴できるように支援しております。 | 週2～3回の午後に入りたい方から入浴しているが、好む方が少なく声掛けを工夫したり着替えから誘ったりして清潔を保持している。長風呂が好きな方には体調に配慮し、状況に応じて二人介助など安全な入浴を心がけている。 | | |
| 45 | | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p> | 起きる時間や寝る時間は決めず、一人ひとりの習慣や体調に応じて対応しております。 | | | |
| 46 | | <p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> | 薬の作用や副作用は全職員が把握しております。新しい薬を服薬される場合はその後の状況を細かく記録し、医師に報告行っております。 | | | |
| 47 | | <p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p> | 一人ひとりの生活歴を把握し、ホームに入居されてからも継続できるように支援しております。歌や塗り絵や計算ドリルをされたり、テレビのスポーツ観戦をされたりと、それぞれの趣味や嗜好を楽しんでいただけるよう支援しております。 | | | |
| 48 | (18) | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p> | 天候に応じて中庭での体操や日光浴を支援しています。また四季を楽しんでいただくために花見ドライブなど支援しています。職員と共に近くのスーパーに買い物に出掛けることもあります。 | 日頃は事業所周辺を散歩したり中庭での外気浴、隣接事業所との交流を楽しんでいる。車椅子の方も多く、花見ドライブなどには少人数に分けて出かけている。家族との墓参りや担当職員と買い物に行くなど個別の支援もしている。 | | |
| 49 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | ご本人の希望を尊重して金銭管理が可能な方はご自分で管理しております。 | | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|----|------|--|---|--|-------------------|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 50 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 希望に添えるよう支援しております。ご自分で字を書くことが困難な方でも担当者がお気持ちを配慮し、代筆を行って支援しております。 | | | |
| 51 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節ごと飾りものをしたり季節感のある物を置いたりして居心地よく過ごせるように努めております。 | ホールは利用者と一緒に行事に合わせた壁画作りなどをして季節感ある演出を心がけている。日中は体操やゲーム、歌を唄うなど皆で活動的に過ごし、廊下に置かれたソファやベンチで寛ぐ方もいる。掃除や消毒、換気など衛生面に留意し、動線の確保など環境整備に努めている。 | | |
| 52 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 中間スペースとして和室やソファを配置し自由にくつろげるよに配慮しております。 | | | |
| 53 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ご本人様が馴染みにしている物、使い慣れたものを持ち込んでいただいたり、ご家族様の写真を飾ったりと、居心地よく過ごせるよう配慮しております。 | 居室は事前のアセスメント情報や関わりの中で意向を確認しながら担当職員と共に過ごしやすい環境になるよう整えている。身体状況によってはコール代わりに枕元にタンバリンを置いたり布団に鈴を付けるなどして迅速な対応がとれるよう工夫している。 | | |
| 54 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 場所が分かりやすいように目印をつけたり、その方一人ひとりに合った声掛けをし支援することで、混乱や失敗を防ぎ、自立して生活が送れるよう支援しております。 | | | |